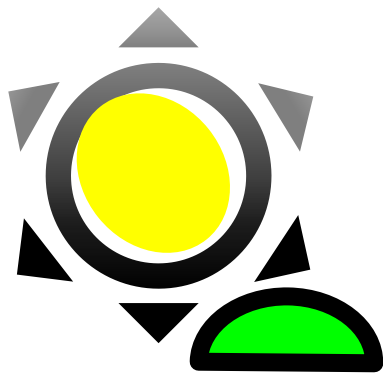


踊字の性質

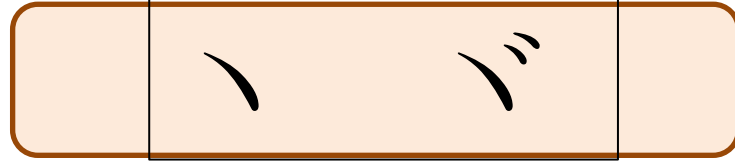


一字点

ひらがな



カタカナ



- 基本的に、直前の1個の仮名文字を省略するのにも使用される
 - 例： かゝる たゞ クラゝ スヅムシ

- 一字点列の直前は必ず仮名文字
- 地の文上の文字のくりかえし

} 例外あり

- 短単位境界を越えて省略が起こることも多い

- > >, > >, / /, / /,
 - > /, > /, > /, > /,
 - / >, / >, / >, / >
- } は原則無い。

例外（これで全部）：

ルビ中文字の繰り返し

か ^か
斯 ^ゝる

太陽1895年7号

同字点の用法

々
較 ^々峻嚴

太陽1917年14号

漢字内読みの繰り返し

（ルビがアノテーションされてないだけかもしれない...）

しめ ^さざる
示 ^ゝる可からず

国民之友33号

す ^てて
捨 ^ゝ

太陽1925年7号

た ^たず
立 ^ゝず

太陽1925年1号

い ^かが
何 ^ゝ 太陽1895年9号

か ^かる
斯 ^ゝる 国民之友22号

不明

三位中將、、

国民之友7号

日本橋區、、

国民之友7号

、、、、、、

国民之友3,6,7,10,25号

頃日、、、、、、、

国民之友12号

>>>>>>>>>>>>>>>
>>>>>>。

太陽1917年4号

一字点を繰り返さない場合

- 直前の文字が濁点付き

濁点付けずに濁音

及^ばば
及^ばば
助詞（接続助詞）

濁点付けずに清音

出^てで
出^てで
助詞（接続助詞）

濁点付けて濁音

御出^でで^でずか

注) もちろん1つの短単位内の
文字を省略することもある!

- 直前の文字が濁点なし

濁点付けずに濁音

濁点無表記

と^どまり

濁点付けずに清音

か^かゝる

濁点付けて濁音

た^だゞ

直前の文字が濁点無表記の場合もあるから注意！

ひらがなの後にカタカナ一字点

一字点を2個以上繰り返す場合

- 基本，繰り返さない場合と同じで，一字点列の直前の仮名文字を繰り返す
- 笑声，擬音でよく使用される (というかほとんどこれ)

• 例：

— ほ^ほゝゝ

— へ^へゝゝ

— ダ^ダゝゝ

濁点無表記

未知語処理で対処すべきところ？

例外(これで全部):

一字点列と同長の直前の文字列の省略

みなと
みなとゝゝゝ

太陽1895年1号

否ナ
否ナ、、

国民之友年7号で2カ所

なりけり
「なりけり」ゝゝゝゝ

太陽1901年5号

ブツ
ブツ、、したる

太陽1895年12号

ナカ
ナカ、、

太陽1901年5号

不明

ハツハツ<踊字 値= “ ” > \ \ \ </踊字>

太陽1925年11号

人を刺し女は \ \ \ \ 。

太陽1917年2号

刺れた代りに \ \ \ \

太陽1917年2号

同字点

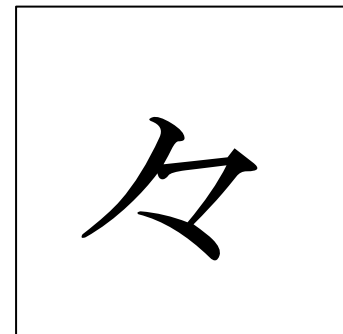
- 地の文上の文字のくりかえし
- 1個で直前の1個の漢字を省略するのに使用される

– 例： 益々，倍々，面々

- 同字点列と同長の直前の文字列(漢字でなくてもいい)を省略化するのにも使用される

– 例： 馬鹿々々しき，部分々々

– 一字点と違って使用頻度が高い！



例外：（これで全部）

1個の省略記号が1字に対応していない場合

- 「々々」で直前の1文節の繰り返しになっている場合

ラテイス貼るときに対処。辞書引きは関係ない！

御 無用 々々
御無用
太陽1925年5号

三次郎 々々
三次郎
太陽1909年13号

交はる 々々
交はる
太陽1895年2号

御 苦勞 々々
御苦勞
太陽1909年14号

ワット 、 フォール 々々
ワット 、 フォール
国民之友年7号

- 「々」で直前の1短単位の繰り返しになっている場合

不足^{不足}々

太陽1901年1号

果テ^{果テ}々

明六雑誌1号

ラティス貼るときに対処.
辞書引きは関係ない!

- 「々」で短単位先頭から直前の文字までの繰り返しになっている場合

とろ^{とろ}々

太陽1901年10号

夫れ^{夫れ}々

太陽1901年1号

マス^{マス}々

明六雑誌16号中に3カ所

一人^{一人}々

太陽1901年9号

その他

妙妙
妙々々

太陽1895年5号

- 1個で直前の1個の漢字を省略する場合

基本，展開せずともよい

展開しない方が辞書に載ってる

でも，載ってない場合は，一応展開して，どの字の省略か判明させるくらいはしないといけないか...

例：「斷々」は辞書に未登録だった

例外：

短単位の先頭文字が同字点である場合

民主 ^主々義

展開しないと辞書が引けない！

辞書には載っていない語だが、
同字点をスキップすることで品詞までなら何とかなる語

愉快愉快
愉々快々

太陽中に3例

冷
冷々然

太陽中に2例

- 同字点列と同長の直前の文字列を省略化する場合

基本2～3文字

例外:南無妙法蓮華經々々々々々々々々

1 短単位内での省略化

恐る^{恐る}々々 甲斐^{甲斐}々々しく

展開しないと辞書に載ってない!

短単位境界を越えた省略化

部分^{部分}々々

ラティス貼るときに対処. 辞書引きは関係ない!

二字点

- 一字点と同字点の使い方を合わせたもの
- 地の文上の文字のくりかえし



二字点を繰り返さない場合

- 直前の仮名文字1字の省略

注が^るるゝ 給は^ばゝ 出で^てゝ

- 同字点に置換可能

各^々ゝ 抑^々ゝ

二字点を繰り返す場合

笑声，擬音

ホ ^{ホホホ} ゝ ゝ ゝ 太陽1895年11号のみ

二字点列と同長の直前の文字列を省略化する場合

見よ ^{見よ} ゝ ゝ

国民之友31号

補綴 ^{補綴} ゝ ゝ

明六雑誌27号

其國 ^{其國} ゝ ゝ

明六雑誌27号

太陽:20例
国民之友:1例
明六雑誌:2例

甲斐 ^{甲斐} ゝ ゝ し く も

太陽1895年10号

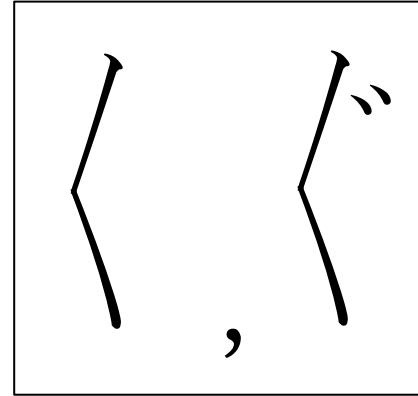
いかにも ^{いかにも} ゝ ゝ ゝ ゝ

太陽1895年10号

くの字点

- 直前の文字列を繰り返す
 - 短単位の一部, 1短単位, 1文節.
くりかえしの単位はさまざま
 - 辞書引きで対処すべきなのは短単位の一部

〇〇〇 / \



- 近代文語文では, 基本, 連続しない

例外： 口語では連続することもありうる

国民之友：1例
太陽：40例

別ツタカ 別ツタカ
別ツタカ / \ / \
国民之友11号

アハ アハ
アハ / \ / \
太陽1895年11号

能楽
ありうとう / \ / \
太陽1895年3号

• 短単位の一部を省略する場合

短単位の先頭から、くの子点の直前までの文字列の省略

まに ^{まに} / \

そも ^{そも} / \

たえ ^{たえ} / \

つれ ^{つれ} / \

返す ^{返す} / \

濁点無表記

濁点無表記

同字点に置換可能

各 ^々 / \

中 ^々 / \

能く / \

辞書には載ってないけど、
くの字点がなければ
辞書に載っている語で代用できる

益す / \

送り仮名が引っ込んで、
/ \ を々に置換すれば
辞書に載っている

- 直前の1短単位を省略する場合

くり返し ^{くり返し} / \

薄い ^{薄い} / \

- 直前の1文節を省略する場合

ツバくり ^{ツバくり} / \

西 ^{西へ} / \

愛蘭事件 ^{愛蘭事件よ} よ / \